

# 信頼性の危機II:

Engagement Agents and Trust-Work

(仮訳)

ヴォーン・タイソン

Tyson Vaughan

Asia Research Institute (ARI)

National University of Singapore (NUS)

# 信頼性の危機の要約

- ・ 専門知識: ノウハウ、社会的地位
- ・ 災害後の損失状態および増大するリスク、脆弱性
- ・ 認識様態の信頼性credibility vs. 道徳的信頼性trustworthiness
- ・ 災害後の専門知識は、再改定する必要がある。credibility(信頼性)とtrustworthiness(信頼性)は、(再)構成されなければならない。
- ・ 技術的な専門家として信頼性を確立するには不十分。また、道徳的な仲介者として信頼性を確立する必要がある。

# *Engagement Agents*

- 神戸の専門家コミュニティは、1995年の地震の余波で、アンチテクノクラートの専門知識という新しい分野を開発した。現在、東北で重要な役割を果たしている。
- まちづくり協議会を通して、参加型復興計画(PRP)への取り組みを促進する。
- 反射的に状況を説明し、ローカルな知識と技術的なノウハウを融合させる。
- 認識様態の信頼性と道徳的信頼性を共同構築する。
- 戦略的にレッスンと技術をシェア、統合そして制度化する。

# Trust-work

- ・ 他の設定した目標を達成するまでの間、信用と信頼を構築するのに役立つ*trust-work*の実践。例；
  - ・ その場に居て、耳を傾け(全ての人に)、妥当性を確認する。
  - ・ 熟考し、疑い、再評価する。
  - ・ 現地の人になる。
  - ・ 共有した経験と一致点を強調する。
  - ・ 飲みニケーション。
  - ・ 参加型モデリングや、まち歩きを通してコミュニティ“lifescapes”の再建。

# Re: Medical Education

- 技術的な専門家としての信頼性を確立するには不十分。道徳的なエージェントとしても信頼性を確立する必要がある。
- *trust-work*を通して、これを行う。
- 勉強し、身に着け、そして*engagement agents*としての実務に順応する。

Thank you.

ありがとうございます。

Tyson Vaughan  
[arietv@nus.edu.sg](mailto:arietv@nus.edu.sg)